



日本語教師必携

日本語類義表現 使い分け

「～は」と「～が」の使い分けが説明できる

泉原 省二〔著〕



大连出版社
DALIAN PUBLISHING HOUSE



日本語類義表現 使い分け

© (日)泉原省二 2010

图书在版编目(CIP)数据

日本語類義表現使い分け/(日)泉原省二著. —大连:大连出版社,
2010.5

ISBN 978-7-80684-889-0

I. ①日… II. ①泉… III. ①日语—同义词—研究 IV. ①H363.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 059624 号

辽宁省版权局著作权合同登记号:图字 06-2010-37 号

Nihongo Ruigihyogen Tsukaiwake Jiten

© Shoji Izuhara, 2007

Originally published in Japan in 2007 by Kenkyusha Co., Ltd.

本书由大连出版社在中国境内独家出版发行
版权所有,侵权必究

出 版 人:刘明辉

策划编辑:李 岩

责任编辑:李 岩 张 岚

封面设计:林 洋

版式设计:张 岚

责任校对:李方方

责任印制:徐丽红

出版发行者:大连出版社

地址:大连市西岗区长白街 10 号

邮编:116011

电话:0411-83624487 0411-83620941

传真:0411-83610391

<http://www.dlcbs.com>

E-mail:ly1199@sohu.com

印 刷 者:大连金华光彩色印刷有限公司

经 销 者:各地新华书店

幅 面 尺 寸:147 mm × 210 mm

印 张:38.375

字 数:2110 千字

出 版 时 间:2010 年 5 月第 1 版

印 刷 时 间:2010 年 5 月第 1 次印刷

印 数:1~3000 册

书 号:ISBN 978-7-80684-889-0

定 价:86.00 元

まえがき

日本での滞在が長くなった外国の人が心に抱く不満のひとつは、日本語が上手になればなるほど、日本人がよそよそしくなることだと聞く。「うますぎて気持ちが悪い」と日本人が言うのは建前で、おそらく「日本語がこちらの肌を逆撫でする」というのが本音であろう。

日本人からすれば「そうじゃなくて、こう言うのですよ」とまでは言えても、素直な「どうして？」という質問に答えることができない。いくら直せても「説明できない」のなら、いっそ「直さないほうがいい」という気になるが、外国の人からは「日本人は間違ったところを直してくれない」というクレームが出る。

この辞典を編纂したのは、上のような状況があつてのことであるが、語彙のほうは、すでに『類義語使い分け辞典』（1998年、研究社、共著）¹⁾で一応のところは済ませたので、いわゆる「文型」を中心に使い分けの説明を試みた。両者には重なる部分があり、ときには本書で『類義語使い分け辞典』を参照したところがある。ご容赦、願いたい。

これまで数多くの日本語学習者の作文や、日本語に支障のない外国の人からのメールなどに接して、思わず「えっ？ どうして？」と叫んでしまう経験を何度も重ねてきた。体が「おかしい／変だ」と感じる一方で、頭のほうは「なぜ？」と不思議がつているのである。日本語母語話者には作りたくても作れない「見事な日本語」ではあるけれども、なぜ「おかしい／不思議な」のかは説明できない。そんな不可思議を20年あまり集めてきて、この辞典が成り立っている。

よく似た語彙や文型の違いは、ずっと授業で話してきたことなので、さほど困難もなく「使い分けはできるだろう」と思っていたのが、とんでもない間違いで、学生たちの顔を見ながら説明するのと、パソコンを睨みながらタイプするのは全く異なっていて、いかにいい加減な授業をしてきたかを思い知らされてしまった。目のまえの学生たちはごまかせても、自分自身は騙せないのである。

いくら書き直しても納得しない「私」がいて、簡単だと高をくくっていた使い分けが途方もないことになり、違いを決定づける「例文」や「キーポイント」を見つけだすのに、数年がかりになることもあった。まさに「知恵熱」に浮かされて眠れなくなり、頭のなかで訳のわからぬ例文だらけになって、四六時中「これは置き換わる。これは置き換わらない。でも、これは？」と考えていると、慣れとは恐ろしいもので、非文が非文ではなくなり、すべてが入り乱れて「万華鏡」の世界が現出したこともあった。

何度こんなものに手を染めたことを後悔したかしれない。ただともかく「中間報告」という形で、至らぬところ、説明不足や「説明未知」を残したまま、こんなものにまとめてみた。ご叱正、ご批判、そして慰めもお願いしたい。

重複を恐れず、本文の至るところに「参照」を散りばめて、説明不足の部分を補うことにした。

というより、多くの「説明未知」を読者のご判断に委ねたといったほうが適切かもしれない。ご面倒でも「参照」へジャンプしていただけると有り難い。

あらかじめ、お断りしておきたいのは、本書が国語辞典と同じような「引くための辞典」ではなく、むしろ「読むための辞典」になっている点である。かといって百科事典といえるほどのものでもない。ただ本文を読みはじめると、必ずどこかで「参照」にぶつかるようになっており、指示通りにジャンプしていくと、終わりのない旅立ちとなって「ネヴァーエンディングストーリー」に巻き込まれ、ささやかな日本語の小宇宙を遊泳できるようになっている。遊泳を楽しみながら、ご利用、ご愛用いただければ、望外の喜びである。

最後に、この辞典がで上がるまで、ご支援、ご支持を惜しまなかった友人諸氏にお礼を申し述べたい。特に、時間を要したこの辞書を暖かく見守り、編集の労をとってくださった研究社の吉田尚志部長をはじめ、読みづらい文章に校正をかけてくださり、少しでも「読む辞典」を「引ける辞典」に近づけてくださった研究社編集部の鎌倉彩さん、宮内蘭子さんに感謝の意を表したい。誠にありがとうございました。

なお、本書の使い方を一言申し添えておくと、本文をお読みになるまえに、是非とも巻頭の「凡例」と、巻末の「キーワード」をご一読いただければ幸せである。ざっと「あ〜、なるほど、こんなものがあるのか」といった程度で充分なのであるが、いきなり本文に入って、戸惑ってしまわれるのを恐れている。何卒よろしくお願い申し上げたい。

泉原省二

凡 例

■品 詞

本文の説明に用いられている品詞は、主に「名詞・状態名詞・形容詞・動詞」の4種類であるが、ほかに「疑問詞・数量詞」といった語も使っている。それぞれは、次の〈例〉に見られるような語彙を表している。

「連体詞・副詞・接続詞・助詞・助動詞」といった類の語は、使用していない。ただ、文法の説明上「助動詞」は、巻末においてのみ使われている。

〈例〉

名 詞：花・バス・重さ・爪切り・食べかけ・ぼく・わけ・くらい…

状態名詞：きれい・静か・しなやか・有名・爽快・悲惨・堂々・泰然…

形 容 詞：長い・痛い・おいしい・楽しい・悲しい・寂しい・切ない…

動 詞：する・できる・される・させる・なざる・そびえる・やせる・つぶす・つぶれる・
有名になる・にぎやかにする・つまらなくなる・面白くする・陶然^{とうぜん}とする・ちゃ
んとする・しっかりする…

疑 問 詞：誰・何・いつ・どこ・なぜ・どうして・どれ…

数 量 詞：ひとつ・いくつ・ふたり・何人・3本・何本・4枚・何枚

▶巻末「状態名詞／形容詞／動詞」を参照

■接続の表記

本書で使われている接続の表記は次の通りである。動詞は「行く・食べる・くる・する」を、形容詞は「大きい」を、名詞と状態名詞は「花・静か」を例に挙げる。〈敬体〉〈非敬体〉については巻末「文体」を参照のこと。

－る／－い／～た：〈未完文〉となる次の〈非敬体〉に接続

行く・食べる・くる・する・大きい

行か・食べ・こ・し・大きく＋ない／なかった

行っ・食べ・き・し・大きかつ＋た

花・静か＋で(は)＋ない／なかった

花・静か＋だった／であった

－る／－い／～た／～だ：上の接続＋次の〈非敬体〉に接続

花・静か＋だ／である＋から／し／が／けど

花・静か＋な／である＋ので／のに

(注1)「未完文『－る／－い／～た／～だ』＋名詞」の場合は「(状態)名詞である／状態名詞な＋名詞」

「未完文『-る/-い/~た/~だ』+ の」の場合は「(状態)名詞 + な/である + の」
ただ「(状態)名詞である+の」は、ほとんど使われていない。

また「未完文『-る/-い/~た/~だ』+ こと」の場合、話し言葉で「名詞な + こと」になることがある。

▶本文 1.1.「主題/提題/~ことは」を参照

(注 2) 語としての名詞を修飾する場合は「名詞の/状態名詞な+名詞」

-る/-い/~た + 敬体:「-る/-い/~た」の〈敬体〉に接続

-る/-い/~た/~です + 敬体:「-る/-い/~た/~だ」の〈敬体〉に接続

~ない: ない形接続

行か・食べ・こ・し・大きく + ない

花・静か + で(は)ない

~られる: 受身形接続

行かれる・食べられる・こられる・される

~させる: 使役形接続

行かせる・食べさせる・こさせる・させる

~ます: ます形接続

行き・食べ・き・し + ます

~て: て形接続

行っ・食べ・き・し・大きく + て

行か・食べ・こ・し・大きく + なくて

花・静か + で

~た: た形接続

行っ・食べ・き・し・大きかつ + た

行か・食べ・こ・し・大きく + なかった

花・静か + だった/であった

花・静か + で(は)なかった

~だ: 名詞・状態名詞に接続

花・静か + だ/である

花 + の + (名詞) 花 + な + (のだ) 静か + な + (名詞)

花・静か + である + (名詞)

例: これは花の本だけど、あれは鳥の本なのだよ。

上は花の本であるが、下は鳥の本なのである。

だから、これは花のはずだ。だから、これは花なわけだ。

花である百合。

静か + な/である + はずだ。

-い: 形容詞辞書形接続

大きい

-る: 動詞辞書形接続

行く・食べる・くる・する

名詞・状態名詞 + である

ーろ: 動詞命令形接続

行け・食べろ・こい・しろ・せよ

～できる: 可能形接続

行ける・食べ(ら)れる・こ(ら)れる・できる

～ば: ば形接続

行け・食べれ・くれ・すれ + ば

大きけれ + ば

花・静か + であれば／なら

▶本文 4.1.「順接仮定条件／仮定条件／～なら」を参照

～(よ)う: 意志形接続

行こう

食べ・こ・し + よう

大きかろう

花・静か + であろう

(注 1) 「ない形」を使って「ない」に接続しない場合、例えば「～んばかりに」では、接続表記は「ない形 + んばかりに」とする。

同様に「ます形／た形／ば形」を使って「～ます／～た／～ば」に接続しない場合も、表記は「ます形 + ながら／た形 + たり／ば形 + ども」とする。

ほかの活用形でも同様である。

(注 2) 上にない接続の場合も「形容詞語幹 + さ／み」「(状態) 名詞 + な + のに」「(状態) 名詞 + であれば」のように明記する。

■記号

本書では、次のような記号を用いて、使い分けの説明をしている。動詞・形容詞の例としては「行く・食べる」と「大きい」を挙げる。

～ 名詞・状態名詞

動詞・形容詞の活用部分: 行か・行き・行っ・行け・食べ・食べれ

大きく・大きかつ・大きけれ

「～ない／～て／～た／～ば」などとして使われる

ー 動詞・形容詞の語幹部分: 行・食べ／大き

「～る／～い」として使われる

・ 同種類の語の並列(「と」に相当): 行く・食べる

/ 語の交換(「または」に相当): 行く／大きい

+ 接続と共通部分: 行き・食べ + ます

お + 行き・食べ + になる

行くように／大きく + なる

すぐ + 行き／大きくなり + ます

() 省略可能: 可能形「食べ(ら)れる・こ(ら)れる」など

(+) 補足部分: ます形「行き・食べ・き・し」(+ ます) など

→ 置き換え／書き換え可能: 不自然ではない文になる

× 非文: 置き換え不能で、置き換えると、不自然な文になる

- △ 境界例：置き換え可能とはいえ、不自然に響くことがある
- ◇ 空集合：何も挿入しない
- 〈 〉 キーワード：〈ウチ〉〈聞き手志向〉など、巻末に説明がある
- ⊂⊃ 含まれる・含む：例えば「 $A \subset B$ 」は、Aが下位語、Bが上位語になる
- (↑) 上昇イントネーション
- (↓) 下降イントネーション
- (〜) 下降→上昇イントネーション：疑いを表す

その他の記号は、慣用的な使い方なので、特に説明は不要かと思われる。

*お願い

〈 〉のキーワードは、本書の説明を理解する上で、不可欠なもののなので、どのようなものが収録されているか、あらかじめ巻末に目を通してくださるよう、お願い申し上げます。

■参照指示

本書の本文の「説明部分」以外に現れる参照指示には、次のようなものがある。

- ▶本文 1.1. 「主題／提題／～は・～が」を参照：
本文の第1章第1節「主題／提題」にある「～は・～が」への参照を示している。
- ▶本節「使い分け③／『～の』の使い方」を参照：
同節内の「使い分けワンポイント③」の「『～の』の使い方」への参照を示している。
- ▶本節まえ（または「本節最初」）の「～は・～が」を参照：
同節の最初に現れる「～は・～が」への参照を示している。
- ▶巻頭「凡例／接続の表記」を参照：
巻頭にある「凡例」の「接続の表記」への参照を示している。
- ▶巻末「動詞／一对の自他動詞／動詞の分類」を参照：
巻末にある「動詞」の「一对の自他動詞」と「動詞の分類」への参照を示している。

本文の「説明部分」に現れる参照指示には、例えば「接続」や「置換 [例] (p. 123)」または「用例」や「使い分け」のようなものがあるが、これらは各章各節の最初に現れる **置換**／**接続** [例] (p.123)／**使い分け**／**用例** への参照を示している。特に必要な場合のみ、該当するページを示している。

また「使い分け③⑤」など、番号をもつ「使い分け」は、同節内の「使い分けワンポイント③」と「使い分けワンポイント⑤」への参照を示している。

そのほかの「参照指示」については、同様の表記を使っているので、特に説明は不要かと思われる。

*お願い

「参照指示」については、本文の説明を理解する上で必要なもののなので、もし本文の説明が理解しにくい場合は、時間の許す限り、参照してくださるよう、お願い申し上げます。

目 次

見出し一覧 vi

凡 例 xxxvi

■第 1 章 主題 2

- 1.1. 主題／提題 2
- 1.2. 主題／テーマ 67
- 1.3. 主題／例示 73
- 1.4. 主題／立場 113
- 1.5. 主題／展開 134
- 1.6. 主題／対比 140
- 1.7. 主題／累加 149

■第 2 章 時の表現 161

- 2.1. 時の表現／基準時未実現 161
- 2.2. 時の表現／基準時直前 183
- 2.3. 時の表現／基準時同時時間帯 189
- 2.4. 時の表現／時間範囲 205
- 2.5. 時の表現／基準時瞬間 218
- 2.6. 時の表現／基準時直前直後 227
- 2.7. 時の表現／基準時以前既実現 247
- 2.8. 時の表現／基準時以前既実現／経験と習慣 258
- 2.9. 時の表現／基準時以前既実現／モーダス表現 268

■第 3 章 順接確定条件 295

- 3.1. 順接確定条件／原因と理由 295
- 3.2. 順接確定条件／原因と理由／モーダス表現 322
- 3.3. 順接確定条件／根拠 341
- 3.4. 順接確定条件／手段 362
- 3.5. 順接確定条件／基準 369
- 3.6. 順接確定条件／目的 378
- 3.7. 順接確定条件／前提条件 412

■第 4 章 順接仮定条件 424

- ～なら・～たら・～ば・～と 424
- 4.1. 順接仮定条件／仮定条件 427
- 4.2. 順接仮定条件／反実仮想 451
- 4.3. 順接仮定条件／一般条件 470

4.4. 順接仮定条件／確定条件 487

4.5. 順接仮定条件／基準 502

■第5章 逆接条件 508

5.1. 逆接条件／逆接確定条件 508

5.2. 逆接条件／逆接確定条件／モード表現 520

5.3. 逆接条件／逆接確定条件／対比 531

5.4. 逆接条件／逆接仮定条件 541

5.5. 逆接条件／逆接仮定条件／同一条件 554

■第6章 変化の表現 568

6.1. 変化の表現／ $A \rightarrow B$ 568

6.2. 変化の表現／変数 601

6.3. 変化の表現／比例変化 617

6.4. 変化の表現／不変化 636

■第7章 比較・比喩・比例 645

7.1. 比較・比喩・比例／比較と程度 645

7.2. 比較・比喩・比例／比喩 659

7.3. 比較・比喩・比例／比例／原因 666

■第8章 極限 674

8.1. 極限／状態 674

8.2. 極限／原因と結果 687

8.3. 極限／類推 695

■第9章 授受動詞と敬語 711

■第10章 モダリティの表現 790

10.1. モダリティの表現／禁止と義務 790

10.2. モダリティの表現／命令 809

10.3. モダリティの表現／依頼 825

10.4. モダリティの表現／助言と勧誘 845

10.5. モダリティの表現／意志と希望 857

10.6. モダリティの表現／状況判断 915

10.7. モダリティの表現／確認 987

10.8. モダリティの表現／判断放棄と断言 1028

10.9. モダリティの表現／伝聞 1107

〈巻末〉

キーワード 1118

索引 1166

参考文献 1185

見出し一覧

■第1章 主題 2

1.1. 主題／提題 2

～は・～が 2

- ① 「～は」と「～が」の機能的な差異 4
- ② 「～の」の機能 5
- ③ 「～は」の使い方 5
- ④ 「～が」の使い方 6
- ⑤ 主題とは？ 7
- ⑥ 有標主格とは？ 8
- ⑦ 対比「～は」から有標主格「～が」への変換 8
- ⑧ 対比「～は」と有標主格「～が」の互換性 9
- ⑨ 有標主格「～が」への変換と「～のだ」 10
- ⑩ 有標主格「～が」から主題「～は」への変換 10
- ⑪ 有標主格「～が」と主題「～は」の互換性 11
- ⑫ 「CではなくてAが」と「～はCではなくてA」 11
- ⑬ 有標主格「～が」と「～は」のまとめ 12
- ⑭ 主題の「～は」と対比の「～は」 13
- ⑮ 「～は」の配列 15
- ⑯ 「～は」と「～が」の配列 15
- ⑰ 「～は」と互換性のない有標主格 17
- ⑱ 「～は」と順接仮定条件 17
- ⑲ 「私は」と「私が」 17
- ⑳ 有標主格「～が」と「～は」の構造 18
- ㉑ 既知情報と未知情報 19
- ㉒ 「それは」と「それが」 19
- ㉓ 既知情報と確認 20
- ㉔ むだな双方既知情報 20
- ㉕ 双方既知情報と省略 21
- ㉖ 省略できない双方既知情報 22
- ㉗ 「～は」の省略 23
- ㉘ 「～が＋疑問詞」と問い返し 23
- ㉙ 「AはBがC」のバリエーション 25
- ㉚ 対比の「AはBがC」 27
- ㉛ 対比関係と並列関係 28
- ㉜ 対比のバリエーション 28
- ㉝ 対比のバリエーションと類推 29
- ㉞ 対比と外交辞令 30

- ㉔ ためらいの「～は」とは？ 31
- ㉕ ためらいのバリエーション 32
- ㉖ 現象描写文と判断文 33
- ㉗ 「あつ／わあ」と「ええつと／あのう」 34
- ㉘ 未完文での「～が」と「～の」 35
- ㉙ 未完文での「～が」と「～の」の互換性 36
- ㊱ ～なら・～は 36
- ㊲ 「～なら」と評価 37
- ㊳ 疑問詞＋なら 38
- ㊴ 「～のは」の使い方 39
- ㊵ ～のは・～ことは・～ものは 40
- ㊶ ～というのは・～ということは・～というものは 41
- ㊷ 「～というのは」の使い方 41
- ㊸ 「～ということは」の使い方 43
- ㊹ 「～というのは」と「～ということは」の違い 43
- ㊺ 「～のは」と「～というのは」の互換性 44
- ㊻ 「～のは」と「～というのは」の違い 45
- ㊼ 「～ことは」と「～ということは」の互換性と違い 46
- ㊽ 「～ということ」の使い方 47
- ㊾ ～というのが・～ということが・～というものが 49
- ㊿ 名詞＋という＋の・もの・こと＋は・が 49
- ㊿ ～とは・～って 50
- ㊿ 「～とは」の使い方 51
- ㊿ 「～って(ば)」の使い方 52
- ㊿ 「～なんて」の使い方 54
- ㊿ ～なんて・～など 55
- ㊿ ～など・～なんて・～なんか 57
- ㊿ 「名詞＋など／なんて／なんか」のまとめ 58
- ㊿ 「～なんか」の使い方 59
- ㊿ 「なんと」の使い方 61
- ㊿ ～といたら・～ときたら／～ったら・～ときたひには 62
- ㊿ ～ときたら・～とくれば・～ときているから 64
- ㊿ 「～ったら」の使い方 64
- ㊿ ～にあっては 65
- ㊿ ～にあら(せら)れては・～におか(せら)れては 66
- ㊿ ～たるや 67

1.2. 主題／テーマ 67

～について・～に関して 67

- ① テーマとは？ 69
- ② ～につき・～に関し 70
- ③ ～についての・～に関しての／～に関する・～に関した 70
- ④ ～に対して・～に対する・～に対しての 71
- ⑤ ～にかけては・～にかけたら・～にかけての 72

1.3. 主題／例示 73

～といい～といい・～といわず～といわず 73

- ① 「～や～など・～や・～など」のバリエーション 75
- ② 例示と類推 76
- ③ ～ように・～みたいに 76
- ④ ～やなにか・～かなにか／～やなんぞ・～かなんぞ／
～やどこか・～かどこか・～や誰か・～か誰か 77
- ⑤ 文中の「～(の)か」 79
- ⑥ ～(の)か～(の)か 81
- ⑦ 文中専用の「～のだか」 82
- ⑧ ～のだか～のだか 83
- ⑨ 文中の「～(の)か」と「～のだか」 85
- ⑩ 文中の「～(の)か」と「～のだか」のまとめ 86
- ⑪ 非敬体の「～のだか」と敬体の「～のですか」 87
- ⑫ ～なり～なり・～でも～でも・～だって～だって 87
- ⑬ ～とか～とか・～たり～たり 89
- ⑭ 「～とか」と「～たり」の非互換性 91
- ⑮ ～やら～やら・～たり～たり・～とか～とか 92
- ⑯ 文末の「～(の)やら」と「～のだか」 94
- ⑰ 文中の「～(の)やら」と「～のだか」 95
- ⑱ ～(の)やら～(の)やら・～のだか～のだか 96
- ⑲ 不確かな「～(の)やら～(の)やら」のまとめ 97
- ⑳ 「～(の)やら」と「～のだか」のまとめ 98
- ㉑ ～(だ)とか～(だ)とか・～(だ)の～(だ)の 99
- ㉒ ～(だ)とか何(だ)とか・～(だ)の何(だ)の 100
- ㉓ ～(だ)とか・～(だ)の・～やら・～だか 100
- ㉔ 名詞だの＋名詞だの 101
- ㉕ ～わ～わ 102
- ㉖ AのようなA'・AみたいなA' 102
- ㉗ AといったA'・AのようなA' 103
- ㉘ AといったB・AのようなB 105
- ㉙ AといったようなA' 106
- ㉚ AというA' 106
- ㉛ 「～という」の省略 108
- ㉜ AとのA' 109
- ㉝ Aって(いう)A'・Aなんて(いう)A' 109
- ㉞ AたるA'・AともあろうA' 110
- ㉟ ～といったところだ・～というところだろう 111
- ㊱ その他の例示のバリエーション 112

1.4. 主題／立場 113

～にすれば・～とすれば 113

- ① 「～にすれば」と「～とすれば」の構造的差異 114
- ② 「～にすれば」と「～とすれば」の互換性 115

- ③ ～にしたら・～としたら 117
- ④ ～にしても・～としても 117
- ⑤ ～にしてみれば・～としてみれば／
～にしてみたら・～としてみたら 118
- ⑥ ～からすれば・～からしたら／
～からしてみれば・～からしてみたら 119
- ⑦ ～にすると・～にしてみると／
～とすると・～としてみると／
～からすると・～からしてみると 120
- ⑧ 「～の立場からして」のバリエーション 121
- ⑨ 「～の立場からして」の使用制限 122
- ⑩ 「～の立場からみて」のバリエーション 123
- ⑪ ～にとって・～としては／～にとり 123
- ⑫ 主格を表す「～にとって・～としては」 125
- ⑬ 「～にとって／～としては」と「～に／～と＋すれば」 125
- ⑭ 「～にとって」のもうひとつの使い方 126
- ⑮ ～にとっての・～にとっても 127
- ⑯ ～としての・～としても 128
- ⑰ ～として・～としても・～としては／～とすれば 129
- ⑱ ～としての・～とする 130
- ⑲ ～にとって・～に対して／
～に対する・～に対しての 131
- ⑳ 「立場」のバリエーション 132

1.5. 主題／展開 134

～といえば・～という 134

- ① というと・とすると・ということは 136
- ② それはそうと・ところで 137
- ③ それはさておき・それはそれとして 138
- ④ それはとにかくとして・それはともかくとして 139

1.6. 主題／対比 140

～に対して・～にひきかえ 140

- ① 「Aは＋B＋が／けど＋Cは＋D」との違い 141
- ② それに対して・それにひきかえ・それに比べて 142
- ③ 比較「～に比べて」と対比の使い方 142
- ④ ～反面・～一方(で) 143
- ⑤ 2つの副主題と2つの側面 144
- ⑥ 「一方」の使い方 145
- ⑦ 「～一方」の表す時間帯 146
- ⑧ ～かわり(に) 146
- ⑨ 代理の「～のかわりに」と「～にかわって」 147
- ⑩ ～とは反対に・～とは逆に 148

1.7. 主題／累加 149

～だけでなく・～はもちろん 149

- ① ～ばかりでなく・～ばかりか・～のみならず 152
- ② 「～のみ」の使い方 153
- ③ ～も～も・～うえに～も 154
- ④ 「～も～も」の使い方 154
- ⑤ 累加のバリエーション 156
- ⑥ ～はもとより・～はおろか／～は言うまでもなく 156
- ⑦ 並列のバリエーション 157
- ⑧ ～どころか・～どころではない 158
- ⑨ ～にとどまらず・～に限らず 159
- ⑩ ～とあいまって 160

■第2章 時の表現 161

2.1. 時の表現／基準時未実現 161

～まえに・～までに・～まで 161

- ① 「～まえに」と「～までに」 163
- ② 時間の「点」と「線」 164
- ③ ～まえには・～まえは 165
- ④ ～までに(は)・～まで(は) 166
- ⑤ 「開始 + まえ(に)」と「開始／終了 + まで(に)」 167
- ⑥ 時間の「点」を表す「～に」 167
- ⑦ 「時間 + には」と「時間 + は」 168
- ⑧ ～ないうちに・～ないように 169
- ⑨ 基準時未実現のまとめ 170
- ⑩ ～以前 170
- ⑪ ～までで 172
- ⑫ 「～まで／～までに／～まえに」と基準時 174
- ⑬ 「～まで／～までに」と変化の「点と線」 175
- ⑭ 「～まで／～までに」と「継続／瞬間 + 動詞ている」 176
- ⑮ 「～まで／～までに」と「瞬間動詞ている」 178
- ⑯ 「～まで／～までに + ～ている」の使い方 178
- ⑰ 「～まで／～までに」のバリエーション 181

2.2. 時の表現／基準時直前 183

～にあたって・～に際して 183

- ① 「～に + あたって／際して」の非互換性 185
- ② ～に先立って・～うえて／～に先立つ・～うえでの 185
- ③ ～を前に(して／した)・～を控えて／～を控えた 187
- ④ ～に臨んで・～に面して／～に臨んだ・～に面した 188

2.3. 時の表現／基準時同時間帯 189

～ながら・～つつ 189

- ① 逆接関係の「～ながら」と「～つつ」 191
- ② 「～ながら」の使用制限 192

- ③ 「～つつ」の使用制限 193
- ④ 前触れを表す「～ながら」 193
- ⑤ 感情語 + ながら 194
- ⑥ 付帯状況を表す「～ながらの + 名詞」 194
- ⑦ ～ながらに・～ながらにして 195
- ⑧ ～かたわら 195
- ⑨ ～かたがた 196
- ⑩ ～ついでに・～がてら 196
- ⑪ 「～ついでに」の特殊用法 197
- ⑫ 「～ついでに／～がてら」の使用制限 197
- ⑬ 「～ついでに／～がてら」の表す時間 198
- ⑭ 「～ついでに」と基準時 198
- ⑮ 「～ついでに／～がてら」と「～ながら」 199
- ⑯ 基準時同時間帯のまとめ 200
- ⑰ ～たり～たり・～つ～つ 200
- ⑱ ～たりして 202
- ⑲ ～ては・～そばから 202
- ⑳ 交互反復動作のまとめ 203
- ㉑ ～ないで・～なくて／～ずに 204

2.4. 時の表現／時間範囲 205

～あいだに・～うちに 205

- ① ～た + あいだに 208
- ② ～ないうちに 209
- ③ 「～ない」の意味と「～ないうちに」 210
- ④ ～ないうちに・～まえに 212
- ⑤ ～まに・～すきに 213
- ⑥ ～あいだ(は)・～うちは 213
- ⑦ ～うちが 214
- ⑧ ～から + ～まで・～にかけて・～に至るまで 215
- ⑨ ～に至って・～に至っても・～に至っては 216
- ⑩ ～にわたって／～にわたり・～にわたる 216
- ⑪ ～において／～における 217
- ⑫ ～というもの 218

2.5. 時の表現／基準時瞬間 218

～とたん・～やいなや 218

- ① ～なり 220
- ② ～や・～やら 221
- ③ ～が早いか・～か～ないうちに／即 222
- ④ ～(か)と + 思ったら・思うと・思えば／～(か)と思うまもなく 223
- ⑤ ～(か)と思いきや 224
- ⑥ ～拍子に・～はずみに 225
- ⑦ ～ざま(に) 226
- ⑧ ～とすぐ・～しだい／～たらすぐ 226